

観光学研究科学位授与方針

■博士課程前期課程

本課程に原則として2年以上在学して所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上、修士論文を提出してその審査および最終試験に合格した者に、修士（観光学）の学位を授与する。

本課程の修了者は次の能力を身につけている。

1. 学際研究分野である観光学の特性に即し、観光に関わる多角的な視点と知識に基づいて、研究課題を発見・構想する能力。
2. 観光学に関わる関連諸分野の方法論を理解・習得した上で、独自の研究計画を構築する能力。
3. 調査分析を適切に実行し、その成果を学術論文としてまとめ、発表・発信する能力。

■博士課程後期課程

本課程に原則として3年以上在学して所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上、学位申請論文を提出してその審査および最終試験に合格した者に、博士（観光学）の学位を授与する。ただし、優れた研究業績をあげた者については、観光学研究科委員会の判定によって、博士課程後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

本課程の修了者は次の能力を身につけている。

1. 観光学の分野において、自立した教育者・研究者として学術的な貢献を行い得る能力。
2. 観光学の高度な学術的知識と方法論に基づき、観光に関わるさまざまな社会実践に取り組む能力。